



令和元年

冬号

vol.56

編集・発行：自由民主党・無所属 大阪府議会議員団 <http://jimin-osaka.jp>
〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目1番22号 TEL (06)6941-0217 FAX (06)6944-2244

自民党・無所属 大阪府議団だより

令和元年度 警察常任委員会を開催

とみ た 富田ただやす議員が 大阪府議会警察常任委員会 副委員長に就任!

プロフィール

大阪市旭区選出

新森小路小、旭東中、関西大倉高校、関西大学社会学部卒業／学生時代に訪れた阪神・淡路大震災ボランティアの際、被災地でのダイバーの活躍に感銘を受け入社／被災地三宮などでの勤務を経て、ダイエーユニオン中央執行委員として、ダイエーのリストラ期に全国を奔走／同社を退職後、府会議員秘書として活動。

2015年4月～大阪府議会議員（二期目）／警察常任委員会副委員長／自民党・無所属府議団 副政調会長／民社協会旭総支部長 学生時代より青少年指導員、東日本や熊本での被災地等、多数ボランティア活動に取り組む



100年に一度の事業! 太子橋交番が建替わります!

交番の整備と運用状況

～府下の交番・駐在所の老朽化状況は?～

Q. 富田議員 私の地元、旭区では築49年の太子橋交番を現在、建替え中であり、来年2月に完成予定と聞いている。この交番は住民からも老朽化を心配する声が寄せられていたので、今回の建替えは地域の方々にも大変喜ばれている。大阪府下における交番・駐在所の老朽化の状況はどうか。



▲太子橋交番歩道橋から

A. 地域部長 府下には**603カ所**の交番と46カ所の駐在所があり、築40年が過ぎた交番は**274カ所**、このうち築50年を過ぎた交番は**105カ所**。老朽化が激しい交番等は計画的に建替えを進めており、今年度は旭警察署太子橋交番を含む6件の建替えと6件の設計委託を実施しております。



▲太子橋交番更地_正面



富田議員【要望①】

～交番の建替えを今後も進めるよう要望する～

毎年6カ所程度の建替えということは(府下の交番数から考えると)「100年間に一度」の事業であると言える。交番の整備は安全性のみならず、犯罪の抑止力や住民の安心感、警察官の士気等にも関係するものであり、今後も計画的に建替えを進めるよう要望する。

A. 刑事部長 本年10月1日に大阪府警察在留外国人安全確保総合対策推進本部を設置し、諸対策を推進しております。課題は在留外国人情勢をいかに正しく捉え、取り組みを後手に回ることなく進めていけるか。対策として「外国人コミュニティに対する実態把握の推進」等が挙げられ、急増する在留外国人との共生社会の実現のため、府民に安心していただける対策を講じていきます。

◆ 交番における警察官不在時の対応について ◆

Q. 富田議員 交番勤務の警察官は様々な事件や事故にも対応しなければならず、一時不在になることはやむを得ないと思うが、地域住民の方々はこの不在の状態を解消してほしいと切に願われている。交番における警察官不在時の対応を問う。

A. 地域部長 パトカーや隣接交番で勤務の警察官による立ち寄りの強化や警察OBを交番相談員として約410人採用し、不在となりやすい交番に配置しているほか、「卓上案内板」を設置するなど警察官不在時に交番を訪れた方への対応に努めています。

◆ 在留外国人の安全確保に向けた総合対策 ◆

在留外国人増加における今後の課題と対策を問う

Q. 富田議員 中小企業等の深刻な人手不足への対応に外国人材を受入れる「特定技能制度」が創設され、在留外国人のより一層の増加が予想される。「治安が悪化するのではないか」という不安の声もあり、実際に外国人住民が倍増している福岡市南区では、地域住民から外国人住民のゴミ出しや騒音などに関する苦情が警察に寄せられている。現状を踏まえ、大阪府警察の今後の課題と対策は。

富田議員【要望②】

外国人との共生社会の実現には、言語・宗教・慣習の違いなどへの理解が必要であり、支援などにも取り組んでいかなければならない。情勢を正しく捉えた取り組みを進め、街の安全を守ってほしい。

◆ 行方不明者届の受理状況について ◆

大阪は「全国ワースト1」…深刻な状況

Q. 富田議員 近年、全国的に年少者や女性、高齢者が行方不明となり、事件や事故に巻き込まれるといったニュースが見受けられ、この種事案に対する社会的関心も高まっている。昨年の「認知症を原因とする行方不明者数」をみても、全国で約1万7千人の方が行方不明となっている中、大阪は「全国ワースト1」の2,117人と深刻な状況だ。府下の行方不明者届の受理件数はどうか。

A. 生活安全部長 平成30年中における受理件数は7,880件で、前年と比べて567件増加(+7.8%)しており全国最多、このうち「特異行方不明者(事故に遭遇する、自殺の可能性があるなど)」は全体の約92%にあたる7,284件で、前年と比べ347件の増加(+5.0%)でこちらも全国最多となっております。